

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 16 日 (2021.9.16)

【公開番号】特開 2019-195492 (P2019-195492A)

【公開日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【年通号数】公開・登録公報 2019-046

【出願番号】特願 2018-91311 (P2018-91311)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

第 1 面と第 2 面に配線パターンが形成された基板を備え、

前記基板には、第 1 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、記憶手段を有するマイクロコンピュータと、第 2 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、出力部品に信号出力する出力回路と、が実装され、

前記第 1 面に、前記マイクロコンピュータを含む複数の電子部品が搭載され、

前記第 2 面には、電子部品が搭載されず、

前記マイクロコンピュータは、特定電源により前記記憶手段の記憶内容を保持可能であり、

前記マイクロコンピュータは第 1 グランドに接続され、前記出力回路は前記第 1 グランドと絶縁部によって隔てられた第 2 グランドに接続され、

前記特定電源を前記マイクロコンピュータへ供給する配線パターンは、

前記基板の前記第 2 面のみに形成され、

前記第 2 グランドが形成される第 2 グランド領域に接することなく、前記第 1 グランドが形成される第 1 グランド領域のみに接する領域に形成されている、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 遊技が可能な遊技機であって、

第 1 面と第 2 面に配線パターンが形成された基板を備え、

前記基板には、第 1 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、記憶手段を有するマイクロコンピュータと、第 2 電圧の信号を伝達する配線パターンが接続され、出力部品に信号出力する出力回路と、が実装され、

前記第 1 面に、前記マイクロコンピュータを含む複数の電子部品が搭載され、

前記第 2 面には、電子部品が搭載されず、

前記マイクロコンピュータは、特定電源により前記記憶手段の記憶内容を保持可能であり、

前記マイクロコンピュータは第 1 グランドに接続され、前記出力回路は前記第 1 グランドと絶縁部によって隔てられた第 2 グランドに接続され、

前記特定電源を前記マイクロコンピュータへ供給する配線パターンは、

前記基板の前記第 2 面のみに形成され、

前記第 2 グランドが形成される第 2 グランド領域に接することなく、前記第 1 グランドが形成される第 1 グランド領域のみに接する領域に形成されている。

手段 1 の遊技機は、

遊技が可能な遊技機であって、

第 1 面（実装面）と第 2 面（ハンダ面）に配線パターンが形成された基板（遊技制御基板）を備え、

前記第 1 面（実装面）には、記憶手段（R A M）を有するマイクロコンピュータ（遊技制御用マイクロコンピュータ）を含む複数の電子部品が搭載され、

前記第 2 面（ハンダ面）には、電子部品が搭載されず、

前記マイクロコンピュータ（遊技制御用マイクロコンピュータ）は、配線パターンにより供給される特定電源（バックアップ電源（V B B））により前記記憶手段（R A M）の記憶内容を保持可能であり、

前記特定電源（バックアップ電源（V B B））を前記マイクロコンピュータ（遊技制御用マイクロコンピュータ）へ供給する配線パターン（V B B）は、前記第 2 面（ハンダ面）のみに形成されている

ことを特徴としている。

この特徴によれば、特定電源をマイクロコンピュータへ供給する配線パターンは、電子部品が搭載されない第 2 面のみに形成されているので、電子部品を迂回して形成する必要がなく、配線パターンの距離を短くできるため、外部からのノイズを受けにくく、ノイズによって記憶手段に記憶されているデータが破損してしまうことを防止できる。